

教員の養成の目標

本学の教員養成課程は、帝塚山学院の建学の精神である「力の教育（全人教育）」を理念とし、豊かな教養を身につけ、社会に貢献しうる品性高い人材の育成を目的として昭和42年に開設した。建学の精神を念頭におき、学部教育において修得される専門分野に関する知識と技能に加えて、教員養成課程では広く深い「教養」に支えられ、人間性豊かで、かつ「実践的能力」を身につけた教員養成を目指している。

大学として養成する教員像は以下のとおりである。

1. 教師という職業感、使命感を十分身につけた教員
2. 教職に対する強い情熱と意欲を持ち、生涯にわたり自己研鑽を続ける教員
3. 教育の専門家として確かな力量と実践的指導力に加えて思考力、判断力、表現力等を持った教員
4. 総合的な人間力を有する教員
5. 人間の成長・発達についての知識と深い理解を持った教員
6. 児童・生徒とのコミュニケーションや保護者、教員間の人間関係に関わる指導ができる能力を備えた教員
7. 急速な現代社会の変化に対して、地球的視野に立って思考し、判断し、行動する課題解決能力を持った教員